

# 学校PRポスター作成中

## 生徒が発案、写真撮影

三戸高クリエイティィ部

三戸

青森県立三戸高(豊川武伸校長)クリエイティィ部は1回目の活動として、学校をPRするポスターの作成を進めている。部員7人がそれぞれアイデアを出し、写真撮影やコピーライとも担当。クリエイターの支援を受けながら9月上旬の完成を目指しており、「多くの人に学校の魅力を伝えたい」と意気込んでいます。(上條哲洋)



板道に立つ女子生徒を撮影する部員。「夢に向かって頑張ろう」をテーマに、さまざまなカットを考えていた

同部は、同校が本年度から全国募集の受け入れを始めたのに合わせ、学校活動の充実や情報発信の強化を図るために創設。人気コピーライター日下慶太さん(46)ら、県内外のクリエイター7人が講師を務める。7月24、27日はクリエイターたちが来校。生徒と共にポスターのアイデアを出した後、校舎や学校周辺で写真を撮影した。

「夢に向かって頑張ろう」をテーマに掲げた1年の千浦瑠奈さん(16)は、学校近くの坂道を上っていく女子生徒を撮影。青空をバックに夏の日差しを浴びる爽やかな写真が出来上がり、「自分のアイデアが形になるのが楽しい。完成が待ち遠しい」と笑顔を見せた。部員がテーマの「生徒と先生の距離の近さ」を表現した。今後は、生徒とクリエイターがオンラインでデザインなどを相談し、完成形を目指す。日下さんは「生徒は苦戦しながらも形を作ってくれた。これからコピーライターなどで、さらに完成度を高めていきたい」と話した。



生徒と教職員と一緒にゲームで遊ぶ様子を撮影する部員。三戸高の魅力である「生徒と先生の距離の近さ」を表現した